

## BAKV作成データの検査 (BAKV Ver 3.22)

BAKVで、作成されたバックアップデータ(LZH形式圧縮ファイル)のテストを行います。基本的に他の検査は行われません。LZHファイルの正当性の検査のみ実施されます。

### 検査条件

作成データ

ショップブランド・アスロンXP2000+

ウィンドウズXPをBAKVしたものの

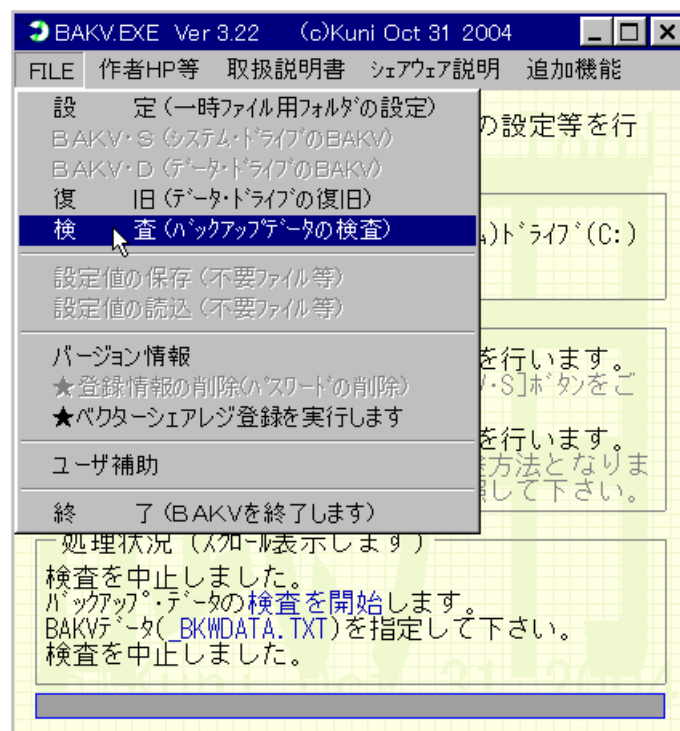
データの検査

PC-9821ウィンドウズ98SE上で検査を実施しました。

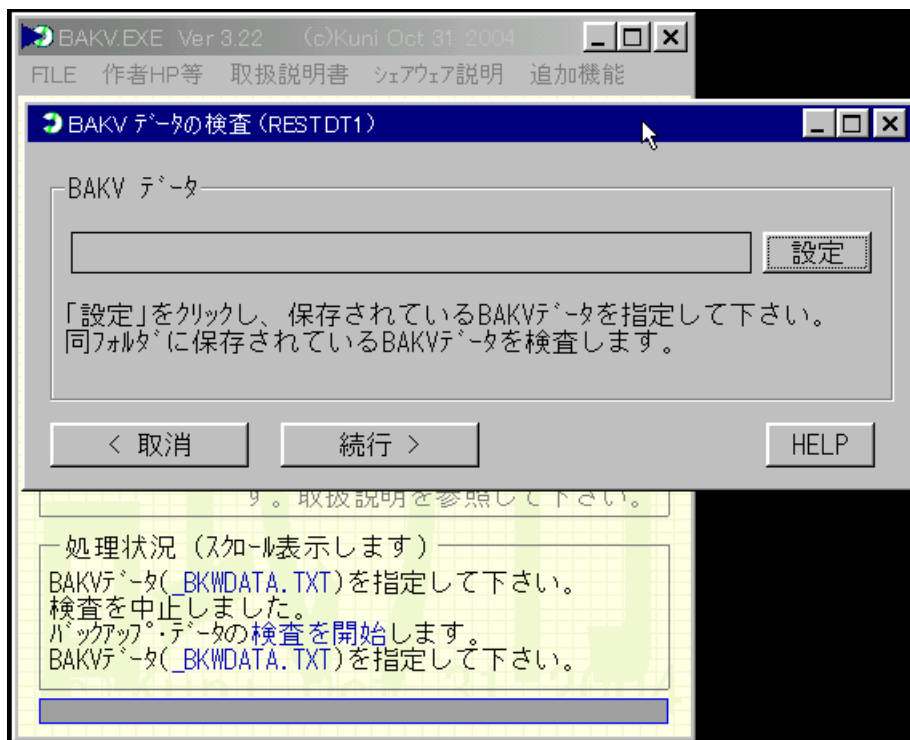
画面をキャプチャーするためにこの様な環境で行いましたが、皆さんはオリジナルマシン上で検査を行う事をお勧めします。

(c)Kuni/JA1UZG 2004/11

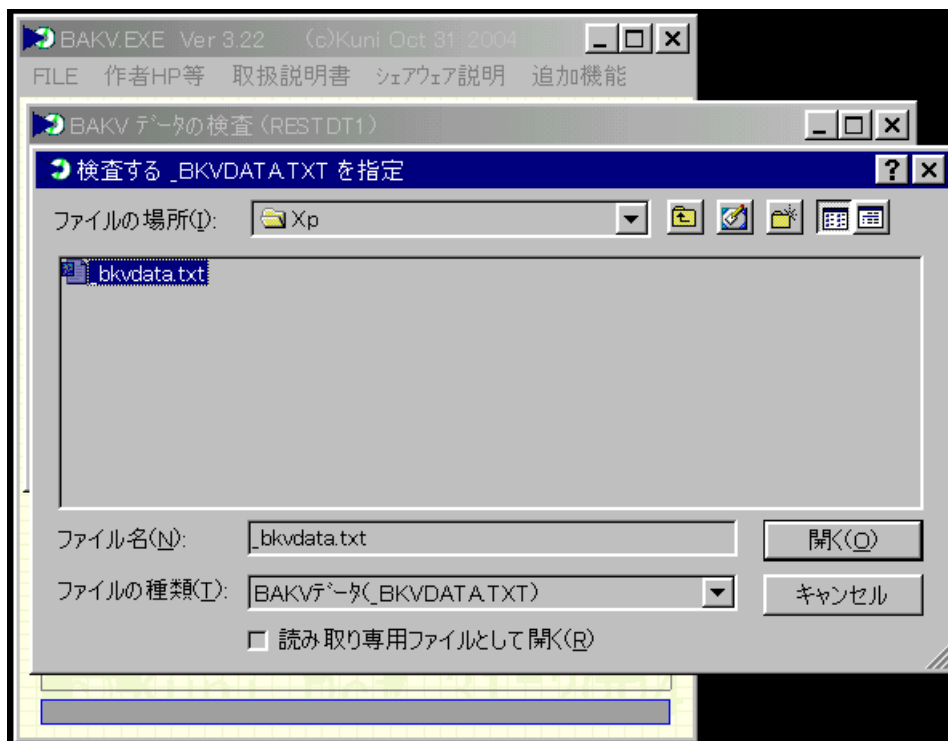
- ・BAKV Ver 3.22以降を起動します。
- ・メニューのFILEから「検査(バックアップデータの検査)」をクリックしてください。



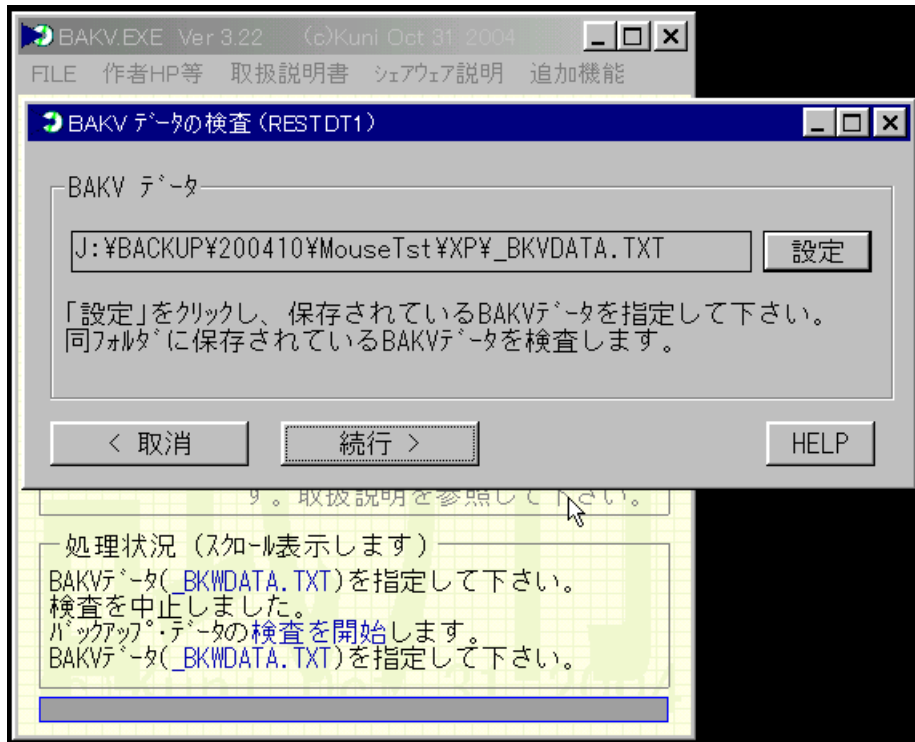
- ・ 検査するファイル名入力ダイアログが表示されますので、「設定」ボタンをクリックしてください。



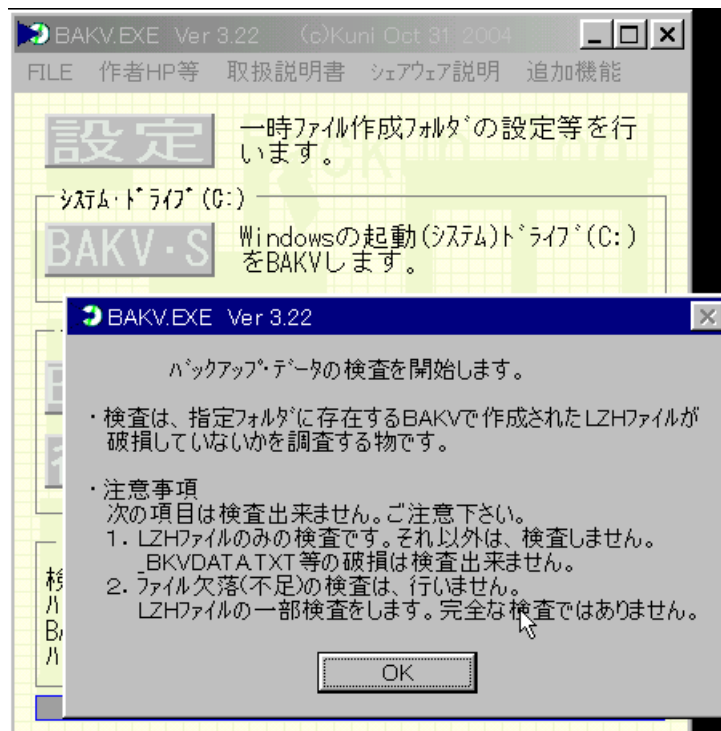
- ・ 検査する B A K V データのフォルダに有る \_BKVDATA.TXT を指定して下さい。



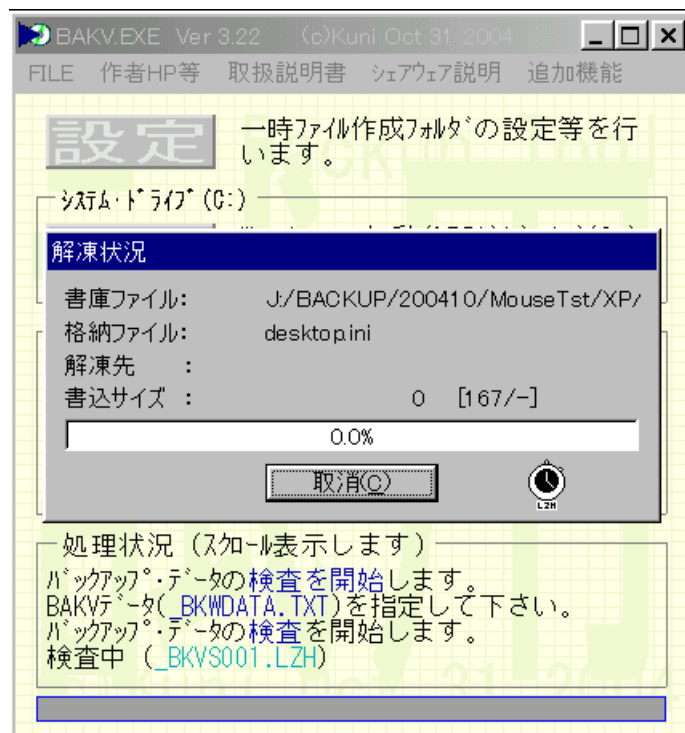
- ・ 指定すると、元のダイアログに指定した\_BKVDATA.TXTが入力された状態になります。
- ・ 処理を続行する場合は、「続行 >」を
- ・ 処理を終了する場合は、「 < 取消」をクリックして下さい。



- ・ 次のメッセージボックスが表示されますので、確認の上「OK」をクリックして下さい。



- ・ 検査が始まると次図の様にUNLHA32.DLLのダイアログが表示されます。検査には、それなりの時間がかかりますので、のんびりとお待ち下さい。



- ・ 無事検査が完了すると次の様なメッセージが表示されます。エラーが出た場合は、復旧に支障がある事も考えられますので再度BAKVをする事をお勧めします。

